

《至誠 剛健 協同》

ふるさとを愛し ころ豊かで
未来を切り拓く 香住っ子の育成

おお まつ
大松



香住小学校 学校だより
第7号
令和7年11月 7日
香美町立香住小学校



修学旅行に行ってきました！



雨の心配をしていましたが、日頃の6年生の行いが良いのでしょう。秋本番の10月16日に、たくさんの方の保護者の皆さんに見送られ、6年生が修学旅行に出発しました。児童たちにとって中身の濃い、驚きと感動の充実した修学旅行となりました。

1日目、広島平和記念公園に到着し、平和セレモニーを行いました。「平和への誓い」を堂々と宣言し、「青い空は」を高らかに合唱しました。セレモニーが始まると同時に、外国の観光客を含む多くの方が大きな輪となって児童たちを囲み、「青い空は」の合唱のあとには観光客のみなさんから拍手が沸き起こりました。ジーンと心が温くなる瞬間でした。その後、全校生の代表として千羽鶴を奉納して恒久平和を誓いましたが、厳かな雰囲気の中、真剣なまなざしで行った平和セレモニーは、見ている人にたくさんの方の感動を与えるものとなりました。心のこもったお弁当をいただいた後、広島被爆者後援会の方のガイドにより、碑めぐり学習をしました。その後の平和資料館見学では、改めて戦争の悲惨さを知り、平和の大切さを学びました。わずか4時間の滞在でしたが、平和記念公園での平和学習は、児童の心に深く刻まれたことと思います。次に訪れた江波山気象館では、サイエンスショーや気象・科学の体験コーナーで科学の不思議に触れました。平和学習の後だったせいか、様々な体験コーナーでは大きな歓声が起こるなど、楽しさが倍増したようです。

2日目は宮島にフェリーで渡り、厳島神社に向かいました。世界文化遺産「厳島神社」では、ガイドさんの案内のもとで、参拝と同時に境内の建造物の説明を受けました。真剣に聞く児童たちにとって歴史を振り返るきっかけとなったようです。その後の宮島水族館では、様々な海の生き物に触れ、心がホッと和むひと時でした。中にはドクターフィッシュの水槽にずっと手を入れて、まさに魚とのふれ合いを体験している児童もいました。そして宮島の商店街ではお待ちかねのお買い物タイム。家族へのお土産を選ぶ光景があちらこちらで見られました。真剣にお土産を選ぶその先は、きっとご家族が喜ぶ笑顔を想像しながらの買い物だったと思います。

わずか2日間の修学旅行でしたが、2日間を通して集団行動の大切さや、仲間を思いやる心など、多くの学びが感じられた修学旅行となりました。何より6年生児童全員が「修学旅行を成功させたい」と一丸となって取り組む姿は、この6年間の成長を感じる事ができるものでした。改めて家族をはじめとする多くの関わっていただいた方への感謝の気持ちをかみしめることができたことと思います。香住小学校のリーダーとして今後の成長につなげてくれることを期待しています。

参観日ありがとうございました

10月8日(水)の授業参観日へのご来校、ありがとうございました。5時間目に各学級での授業を参観していただきましたが、今回ものべ300名を超える保護者の方に来校いただき、学校への関心の高さを感じました。子どもたちはこれまでの学習の成果を見ていただこうと、いつもより緊張しながら一生懸命取り組んでいたようです。

今月21日には音楽会、3学期には、時間帯を幅広く設定して参観していただくオープンスクールを予定しております。今後とも香住小学校への温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

頑張りました香住っ子 ～陸上クラブ駅伝大会～

10月5日「村岡ミニミニ駅伝大会」、10月25日「但馬小学校駅伝競走大会(山陰海岸ジオパーク駅伝)」に陸上クラブの代表選手が参加しました。「ミニミニ駅伝大会」は、5年生が自然学校明けということもあり、良いコンディションとは言えない状況でしたが、男子2チーム、女子1チームが参加しました。兎塚の森をスタートする周回コースでの大会でしたが、男女ともに最後まで全力でタスキをつなぎ、素晴らしいレースを見せてくれました。

「ジオパーク駅伝大会」では、1本のタスキを男女それぞれがつないで走り切り、但馬、鳥取県から参加した小学校26チーム中、13位と力走しました。選手として走ることが出来なかった仲間の思いを胸に、最後まであきらめず感謝を込めて走り切った結果です。2学期から始まった「陸上クラブ」でしたが、駅伝大会に出場するという強い意志を持って放課後の活動を行いました。苦しい練習を仲間とともに乗り越え、更に自分の限界を超えて頑張った経験は、きっと大きな成長に繋がったと思います。放課後の陸上クラブの練習は終わりましたが、これからも様々なことに挑戦してくれることを期待しています。

全国学力・学習状況調査の結果について①

4月17日に6年生を対象に実施した、本年度の全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。なお、この調査によって測定できるのは、学力の特定の一部であり、調査結果は当該教科全体の学力を示すものではないことをご理解ください。

【国語】…全国平均に比べて同程度

- ・評価の観点「知識・技能」は概ね良好である。
- ・「話すこと・聞くこと」については概ね良好である。
- ・「書くこと」「読むこと」については課題があり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力の育成が必要である。
- ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、要旨を把握する力にやや課題がある。

【算数】…全国平均に比べて同程度

- ・評価の観点「知識・技能」は全国平均に比べて同程度だが、「思考・判断・表現」はやや下回る。
- ・文章記述に課題があるため、普段の授業の中から、意見に対しての根拠や理由も問いかけ、表現の場を多く設けていく必要がある。
- ・基礎的な計算力については、分数の計算に弱さがあるため、計算力向上月間を活用し、重点的にプリント学習を行い、反復練習をすることで定着を図る必要がある。

【理科】…全国平均に比べて同程度

- ・評価の観点「思考・判断・表現」は概ね良好であるが、「知識・技能」は全国よりもやや下回る。
- ・A区分「エネルギー」「粒子」を柱とする領域は概ね良好であるが、B区分「生命」「地球」を柱とする領域は課題が見られる。AB区分によって正答率に差がある。
- ・差異点や共通点を基に問題を見だし、その内容を適切に表現することはできているが、見いだした問題を解決するまでの表現に課題がある。

この結果を全職員で共有し、調査対象の国語・算数・理科以外の教科においても、今後の授業改善に活かしていきます。今回調査した3教科以外に「児童質問紙」の調査がありますが、紙面の関係で次回に掲載させていただきます。また、本調査の総括としての「今後の取組の方向性や具体的な方策」についても、次回に合わせて報告させていただきます。